



田辺市街地



Caravansarai  
⑤  
ひなたの杜  
④

⑧  
高尾山

③  
秋津野ガルテン

②  
Re-barrack

⑥  
シリコンバー(高垣工務店)

⑦  
株式会社中川

⑨  
熊野早駈道

①  
味光路

⑩  
熊野古道館

0km 1km 2km



## 1 株式会社中川

「木を伐らない林業」をテーマに育林事業(植栽などの森林管理業務)を手がける林業ベンチャー。植栽放棄地ゼロを目指し、広葉樹の植林で山の再生を目指す。オフィスの軒先では植樹の苗をどんぐりから育てている。



## 2 Re-barrack

経年劣化の魅力が伝わる家具をセレクトしたインテリアショップ。紀州材の家具作りにも取り組んでおり、特に虫食いで価値を失った「あかね材」をデザインの力で有効活用する「BokuMoku」活動の拠点でもある。



## 3 秋津野ガルテン

都市と農村の交流を促すグリーンツーリズムを目指し、地域住民が小学校の廃校舎を買収して設立した里山の総合体験施設。みかん・梅の収穫やお菓子工房での体験メニュー、農家レストランや宿泊環境も揃っている。



## 4 ひなたの杜

畑を荒らす害獣対策に立ち上がった若手農家組織「日向屋」と連携し活動するジビエの解体・加工施設。捕獲した猪や鹿を高品質の食肉や加工品に有効利用しており、持続可能な里山農業のモデルケースとして注目を集めている。



## 5 Restaurant Caravansarai

日向屋の一員であり、ジビエ料理コンテストの受賞歴を有するシェフが、新鮮なジビエ素材を活かして提供する本格フレンチ。梅の蔵をリノベした店構えや地元の食材へのこだわりには、シェフの地元愛が詰まっている。



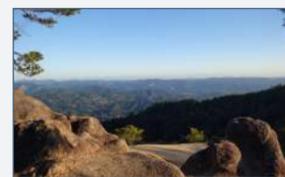
## 6 シリコンバー(高垣工務店)

「人生参加型工務店」を掲げ、住む人の未来を考えた家づくりを目指す高垣工務店。人との繋がりを育てる場として設けられたシリコンバーでは、セミナーや勉強会、サークル活動など様々な地域の交流が生まれている。



## 7 味光路

約200m×150mの狭いエリアに200店舗以上の飲食店が軒を並べる紀南最大の飲食街。名物の「モチガツオ」はじめ新鮮な地魚が手軽に食べられる割烹や居酒屋、バーやスナックの数々は、地元でも長く愛されている。



## 8 高尾山

田辺のシンボリックな存在で、山頂直下のパラグライダー場からは田辺市街地や白浜方面を一望でき、特に夕日の光景は素晴らしい。登山口でもある奇絶峡は県下有数の紅葉スポット。道中では磨崖三尊の大石仏を拝むことも。



## 9 熊野早駈道

秋津野ガルテンから里山の原風景を辿り、熊野古道の潮見峠へと続く道。田辺から熊野へ抜ける近道とされるが、歴史ある寺社や安珍清姫伝説で謳われる捻木の杉など見所も多く、南方熊楠が植物調査で通った道でもある。



## 10 熊野古道館

中辺路町内の12の王子社に因んだ12角形の建物が目印の情報拠点。熊野古道の参詣の歴史文化を学べる資料や映像、古道の地形と立地の全体像を俯瞰できるジオラマなど、古道を歩く際に必要な情報が集約されている。



**11 滝尻王子**  
熊野三山の霊域のはじまりとされ、熊野九十九王子社のうちの五体王子社に数えられる。近くには安産の俗信が残る胎内くぐりや、藤原秀衡の赤子が岩から滴る乳を飲み狼に守られたとされる乳岩などの見どころが点在。



**12 高原熊野神社**  
熊野本宮大社から御神体が勧請された中辺路最古の神社建築で、南方熊楠が周辺の鎮守の森を守り残したことで知られる。この一帯は眺望がよく、霧の名所として「霧の里」と呼ばれており、中辺路最初の宿泊地でもある。



**13 近露王子**  
近露の里は、熊野詣において本宮手前の最後の大きな宿場として賑わった歴史を持ち、今も多くの個性的な民宿が営まれている。移住者も多いエリア。民宿ちかつゆの「ひすいの湯」は中辺路道中において貴重な温泉。



**14 継桜王子**  
藤原秀衡が杖にしていた桜を地に刺し、成長したものとされる「秀衡桜」の伝説に因む王子で、境内には神秘的な「野中の一本杉」がそびえる。小さな民宿が点在し、1泊2日で本宮大社まで歩く行程での宿泊場所となる。



**15 発心門王子**  
「発心門」とは仏の道に帰依する心を発する入り口という意味で、五体王子のひとつに数えられる。ここからが熊野本宮大社の神域とされ、中辺路のクライマックスに入る。日帰りで本宮大社まで歩く行程でのスタート地点。



**16 ちょっとよしみち展望台**  
三軒茶屋跡を過ぎて熊野古道らしい美しい石畳の道を進むと、左手に展望台への分岐。少し上った先の高台からは、大斎原の大鳥居が望める。特に早朝には朝霧が舞い踊り、背後の山々の陰影とともに移りゆく景色が美しい。



**17 熊野本宮大社**  
熊野三山(本宮・速玉・那智大社)の中心、全国に4700社以上ある熊野神社の総本宮にして、京都からの熊野詣で最初に辿り着く聖地。「熊野十二所権現」と呼ばれる十二柱の神々を祭る。明治22年の洪水で現社地に移築。



**18 大斎原**  
熊野本宮大社の旧社地で、熊野川・音無川・岩田川が合流する中洲に位置する。洪水による流失以前は、現在の数倍規模の社屋を誇り、現在は石造の小祠が建つ。高さ約34m・幅約42mの日本一大きい鳥居がシンボル。



**19 湯の峰温泉**  
開湯1800年、日本最古の湯として知られる湯の峰温泉は、熊野詣において湯垢離場として知られ、人々は聖地での禊ぎと旅の疲れを癒した。日によって7回も湯の色が変化する岩風呂「つぼ湯」は世界遺産に登録されている。



写真提供：田辺市熊野ツーリズムビューローなど

